

社会福祉法人  
吾子の里

〒892-0871  
鹿児島市吉野町10793-1  
TEL 099-244-3220  
FAX 099-244-3227

障害福祉サービス事業  
生活介護 きずな学園  
障害者支援施設  
セカンドハウス きずな野  
生活介護デイセンター ゆう  
児童デイサービス きずな  
就労継続支援B型 きずな塾  
相談支援センター あこ

# きずな学園



くん じゅう  
**薫 習**

## 礼節の芳香



ともに、歩く道 ②

よかったのか悪かったのか。ちよつと気にしていることがありません。私は、昼食を毎日「きずな学園」の利用者や職員のみなさんと一緒にとっています。食事が終わったら、必ず調理の方に「おごちありがとうございました。おいしかったです。ありがとうございます」と丁寧にお礼を言います。調理の方は笑顔と会釈で応えてくれます。この何気ないやりとりが私にとってとても大切なのです。

最初は私ひとりでした。だから問題はなかったのです。ところが、そのうち一人二人と同じことをするようになり、今では利用者、職員全員がやっています。調理の方はその度に一人ひとりに応えてくださいます。後片付けで忙しいのに、これでは迷惑をかけているのではないか。これがちよつと気にしていることなのです。

まさかこうなるとは思いませんでした。私としてはただいつも人に行っていることをしているだけのことなのです。でも、すべての行為は、たとえそれがどんなに小さいものであっても、まわりに意図しない影響を与えてしまうものなのですね。「きずな」のランチルームの壁には、

教えずして 教え

学ばずして 学ぶ

ただ心が響き合うだけ

と墨書した額が掲げられています。これを仏教用語で「薫習(くんじゅう)」といいます。たとえば、香を焚いた部屋にしばらくいると、いつの間にか香りが衣に染み込んで、その移り香がまわりに漂います。このこと

に自分では気づきません。

怖いですね。私だけでなく、「きずな」で生活している一人ひとりの何気ない言葉遣いや立ち居振る舞いが知らず知らずのうちにみんなに影響し合っているのです。そしてこれが目には見えない「きずな」の空気になります。その空気が気品のある芳香を放っているのか、とても気になるところです。

それにしても、相撲界は臭い。日馬富士の暴力事件に端を発して、今では貴乃花親方と横綱白鵬(相撲協会)との対立に発展しています。そこには大相撲の存在の根幹を揺るがす重大な問題が孕(はら)まれていきます。大相撲の大相撲たる所以(ゆえん)は、単なる勝ち負けだけではなく、日本の伝統的な様式美と礼節にあります。

マスコミ報道でしか知り得ませんが、貴乃花は一貫して相撲道を主張しています。それに反して、最近の一連の白鵬の振る舞いには礼節さが欠け、奢りさえ感じられます。

彼の抜群の力量は衆目の一致するところですが、横綱にはその地位にふさわしい品格が求められているはず。白鵬は、「勝つことこそが品格である」と言い切っています。これが現在の相撲界の空気なのではないか。このままでは神聖なはずの土俵がプロボクシングのリングと化すのではないかと案じています。貴乃花の沈黙は、このことに対する相撲生命をかけた抗議なのではないでしょうか。今の協会では何を言っても通じないと思っているのでしょうか。

話がちよつと横道にそれました。でも、「きずな」は大相撲の土俵と同じ神聖なトポス(場所)です。ただ勝って稼げばいいリングとは違います。これは、老いた私の勝手な思い込みで、いまの若い人には通じない職業観かもしれません。

# 新成人 おめでとうございます



## 成人式

支援員  
森 いずみ

平成三十年一月五日、きずなの体育館にて新成人を祝う会が行われました。

今回、女性の利用者様と職員のお二人が成人を迎えられました。利用者様、ご家族様、職員総数一二七名の皆さんが温かい拍手でお迎えしてくださいました。



新成人を祝う

会は、盛大に行われ、理事

事長先生をはじめ、たくさんの方からのお祝いのお言葉や励ましのお言葉などを頂き、改めて大人の仲間入りをされた事を実感されたのではないのでしょうか。成人式の一か月位前からでしょうか、成人式の時には「紫色の着物を着るの」と、とても嬉しそうに何度も話をさせて頂きました。

祝う会当日は、緊張されたご様子でしたが、ご両親、妹さんも参加してくださり、喜んでいらつしゃいました。皆さんにおめでとうと言って頂き、素敵な笑顔を見せて下さいました。



ご両親もこれ

までたくさんのご苦勞をなさってこられたかと思いますが、この晴れの姿を見られ、感無量だったのではないのでしょうか。

式はご両親にも喜んで頂き、私自身とても幸せな気持ちになりました。

又、今回一緒に成人を迎えた職員も、きずなの理念である「凛と優しく美しく」をモットーに皆さんの期待に少しづつでも応えられる様に、頑張ってくださいと思います。



# 新任紹介

## 看護師として

支援員 一元 俊彦

私は、社会人を経て三十七歳で正看護師の国家資格を取得しました。以前は人に携わる仕事がしたい、人の役に立ちたいという想いで、運送業(サービスマン)に従事していました。

看護師を志したきっかけは、親の入院や周りの知人が病気がちであったことから医療に対して興味を持ち私も医療人として社会貢献したいと思ったことからです。

平成二十九年一月に「きずな」に入職させていただいてから、看護師として業務をさせていただいております。

職員の方々の

利用者様への看護、支援はとてもしめ細やかです。しかし現在の私は気づき、配慮が未熟で、諸先輩方から日々ご指導をいただいております。以前病院勤務の時は、患者様の疾患に対して医師の指示の下での症状別看護を行っていま



た。しかし今は利用者様に対してどこにどういった状況で病氣、怪我の危険性があるのか、利用者様の特性を把握し、その時の状況判断を考慮することが要求される立場にあります。

一つ一つ確実に安全に看護、支援できるように努力していきたいと思っております。

## 「感謝の心を忘れずに」

支援員 南野 孝一郎

私は高校生の時に空手を始め、三十歳から空手の職員として勤めていました。きずな学園とは月に一度のスポーツクラブの活動で、空手の稽古を通して利用者の方々と交流してきました。その交流が縁となり二十九年四月からきずな学園で働かせて

いただいております。始めのころは空手だけの生活から一転して違う環境になり、一日一日があつという間に過ぎていきました。職員の方が日々取り組まれている作業にも慣れず、利用者への接し方に戸惑い、自分の気持ちも空回りしているように感じ、これで大丈夫なのだろうかと自問自答の日々でした。

不安もありましたが、職員の方から丁寧

ご指導いただき声をかけてもらい今があります。

先生方の気遣い心遣い、培って来られたことを、身をもって学び少しでも近づいて行けるよう頑張りたいと思います。きずな学園は多くの行事があり、利用者の方々が本当に伸び伸び活動に取り組んでいます。

私自身もたくさんを経験させてもらっています。今後も利用者の方々と一緒に共感し成長し楽しみながら

## 感謝して.....

支援員 山崎 湧希

私は、鹿児島医療技術専門学校介護福祉科を卒業し、四月からセカンドハウスきずな野で働かせていただいております。

きずなには第三段階実習で二週間実習させていただきました。実習を行っていく中で、初めは、「利用者様とコミュニケーションをうまく図ることができるのだろうか」「きずなはどういう施設だろうか」と不安を抱くことがありましたが、利用者様の生き生きとした笑顔や元氣、優しさを感じたり、様々な活動を利用者様としていく中で少しずつ楽しさを感じることができました。数日経つと利用者様から「山崎先生おはよう」と元氣よく挨拶をしていたり、利用者様との距離が少し縮まった気がして、きずなの皆さんといろいろなコミュニケーションを行うことがで

このきずなの空気をくずすことなく過ごしていきたいと思います。

空手の活動では、手探りのなか先生方から助けをもらい稽古が出来ています。少しずつではありますがご利用者の方々と色々なことにチャレンジしていけたらと思います。

これからも多々ご迷惑をおかけすることもありますがご指導のほどよろしく願います。

き良い実習になりました。

また、理事長先生や両園長先生、職員の先輩方から「きずなにおいで」など温かい声をかけていただき、私も是非きずなの一員として働きたいという気持ちを抱くようになりました。

きずなに就職して一年が経とうとしています。これからもきずなの一員でいられることに感謝してきずなの皆さんの笑顔が見れるようもっと積極性を持って日々成長して参りたいと思っておりますのでご指導のほどよろしく願います。



日本福祉心理学会第15回大会 支援員 横道 友稀

平成二十九年七月八日・九日の二日間にわたり、北九州市において日本福祉心理学会第15回大会が開催されました。「福祉現場の生活臨床に活きる福祉心理学の実践とは」というテーマのもと本園理事長の十島雅蔵氏による基調講演がありました。

「支援員の専門性とは」の講演の中で「支援員にはさまざまな可能性を常に身につけ、その時、その場の状況に応じてもつとも適切な行動をとつさに選択することが要請されている」という話が印象的でした。

その為、日々目標を立て実践していくことでより適切な判断・行動が身につくのではないかと感じました。毎日の日常生活をただ繰り返すのではなく、より良い支援を目指し、常に模索し続けなければならぬと改めて実感することができました。

今回の研修を通して、利用者の皆様が安心・安全な環境で過ごせるよう、今後さらに精進していきたいと思いましたが、貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。

全国知的障害福祉関係職員研究大会 支援員 松山 拓生

『共にくらし 共にそだつ』と多様な価値の共感から、新たな価値の創造へ」というテーマのもと、平成二十九年九月二十七日〜二十九日の三日間にわたり、名古屋国際会議場において、第十五回全国知的障害福祉関係職員研究大会「愛知大会」が、約二、二〇〇名の参加者で盛大に開催されました。

分科会では、『老いてこそ』と高齢化の対策だけでなく、高齢者の生活をより豊かに」という趣旨のもと、関西福祉大学 谷口泰司教授による「高齢知的障害者支援の視点」の題目で基調講演が行なわれました。

加齢による心身機能の低下や疾病など、知的障害者の方の高齢化への対応が課題となっており、誰もが迎える「老い」というライフステージを、より豊かにしていくために私たちが支援すべきことは何かという内容のものでした。

当施設でも年々利用者の方の高齢化が進んでおり、支援から介護への対応が課題となっています。研修の中でも支援のギアチェンジが必要であるが、その時期は個人差も大きくどこで見極めるかが重要であるとのことでした。たとえ、老化が進んでも利用者の方の日々の生活をより豊かにするための

支援を今後考えていかなければならぬと感じました。

最後に、信長・秀吉・家康の三英傑を生んだ愛知にて、名古屋城や熱田神宮などの歴史建造物、名古屋めしなど研修以外でも十分に満喫できた期間でした。研修に参加させて頂きありがとうございました。

ジェントルティーチング 第十九回公開ワークショップ

支援員 稲毛 沙里絵

平成二十九年十月二十四日・二十五日の二日間にわたり、大阪の富田林市にある、すばるホールにて、ジェントルティーチング第十九回公開ワークショップに参加させて頂きました。

今回のテーマは、「優しさをつなぐ」ということで、基調講演や各地区での実践報告がありました。「優しさをつなぐ」とは、利用者や支援員の対一からその利用者に対して支援員同志のチームアプローチ、また、施設と地域の交流などマイクロからメゾ、マクロへとジェントルティーチングが広がり、繋がっていることを知ることが出来ました。

きずなは、「共感と信頼関係」というテーマで、利用者と支援員の対一の関わりの中にあるジェントルティーチングから、その利用者に対しての支援員同志のチームアプローチという内容で発表させて頂きました。



きずなの仲間の作品紹介

私は、今回初めての参加と初めての発表で、とても緊張しましたが、改めてジェントルティーチングの基礎からほかの施設が取り組んでいる地域でのジェントルティーチング、事例発表など勉強する事が出来ました。今後、学んだことを日々の支援で活かし、また、後輩へジェントルティーチングの考え方を引き継いでいけるよう努力し、精進していきたいと思えます。参加させて頂きありがとうございました。



学生さんとキャンプ



クリスマスコンサート



なし祭り

ゴールデンウィーク  
イベント



貴乃花親方来園



大相撲巡業観戦



親睦球技大会



もちつき



クリスマス会



野球キャンプ



運動会



ぞうさんの鼻どおり



芋ほり



自動車総連ナイスハート

# 平成28年度 事業報告

## 1. 総括

平成28年度も恙なく過ごせましたことを心より感謝申し上げます。平成28年度は、4月の総合福祉支援法の3年目途の一部改正が施行されました。少子高齢化が進み、人口減少、労働力不足、税収の減少等が鹿児島県でも大きな社会問題となっているなか、総合福祉支援法の一部改正では、障害のあるなしに関わらず、地域でその人らしく生きていける方向での施策がうちだされました。社会全体で、お互いを支えあい、自分たちの地域の課題を自分たちで解決していくこと等、大きな社会の構造変革が必要とされる時代となったことを痛感いたしました。

その社会の流れの中で、平成29年4月に、社会福祉法人改革が実施されるにあたり、当法人においても理事会、評議員会の在り方について、真摯に検討を重ねて参りました。

社会福祉法人としての責任と信頼を、更にしっかりと築き上げていくよう、今後とも努めます。

「きずな」の事業全体としては、利用者の方々の個々のニーズに添った支援を充実させること、身体機能低下の防止対策の拡充、ご家族との緊密な関係を維持すること、職員の待遇改善等、重要かつ、喫緊の課題に誠実に向かい合った1年でした。

「きずな」が今、社会に必要とされているのは、日々の変化と歴史の積み重ねを、職員、ご家族一丸となって共有し、守っていくことです。社会福祉の状況は、今後ますます厳しくなりますがご利用者様、ご家族様、そして職員の安定した生活を守る使命が社会福祉法人にはあります。それぞれの生活が、しっかりと安定し、連携がうまくいって初めて、豊かできめ細かい、質の高い「心のサービス」が生まれるものと考えております。

「凛と優しく美しく」をモットーにこれからも切磋琢磨しながら、きずなにご縁のある方々一人ひとりみんなが人間として成長することを願っています。

## 2. 異動（平成29年3月31日現在）

きずな学園 職員/新規採用 1 児童デイサービスきずな 職員/新規採用 0 退職 2 本部 職員/新規採用 なし  
 セカンドハウス きずな野 職員/新規採用 2 退職 1 デイセンターゆう 職員/新規採用 1

## 3. 利用者の状況 年齢別状況（平成29年3月31日現在） 全体平均 39.8歳 平均（男性45.8歳 女性36.2歳）

性別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上	計
	男性	0	4	9	0
女性	0	2	5	2	9
合計	0	6	14	2	22

平均34.3歳（男性32.5歳 女性37.0歳）

性別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上	計
	男性	0	0	4	4
女性	0	0	7	4	11
合計	0	0	11	8	19

平均40.2歳（男性40.3歳 女性40.0歳）

性別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上	計
	男性	0	0	2	4
女性	0	0	4	9	13
合計	0	0	6	13	19

平均43.9歳（男性45.2歳 女性42.7歳）

性別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上	計
	男性	0	0	0	2
女性	1	0	1	1	3
合計	1	0	1	3	5

平均43.6歳（男性62.5歳 女性31.0歳）

性別	小学校	中学校	高等学校	計
	男性	8	7	8
女性	4	0	1	5
合計	12	7	9	28

性別	武台台費課	後ヶ丘費課	鹿大村特支	鹿児島費課	串木野費課	特別支援	計
	男性	13	5	0	5	0	0
女性	1	2	0	2	0	0	5
合計	14	7	0	7	0	0	28

日中一時支援	登録者数	実利用者数

## 4. 日中活動報告

- ・ハビリテーション（健康維持・増進活動）：PT（理学療法士）指導による運動、園庭や学園近辺での歩行運動、ボール遊び等
- ・音楽療法：ミュージックセラピスト（音楽療法士）による活動、吉野町ワンボーイでのカラオケプロドラム奏者による「リズム・ハート」（月2回、打楽器を中心としたセラピー）ダンス専門講師による、リズム体操
- ・社会参加活動：ドライブ、配達、イベント参加、外食等
- ・芸術・文化活動：絵画療法、陶芸他
- ・仕事体験活動：さをり、手芸品製作、園芸、木工製作、紙すき、ウエス作業、タオル作業、その他

## 5. 年間行事報告

- 4月 お花見 施設親善球技大会
- 5月 ゴールデンウィークイベント・理事会、評議員会・さつまパイロットバザー・ナイスハートスポーツ大会・大明丘小学校交流会
- 6月 耳鼻科検診・市職員親善球技大会・クラフト大会・福祉フェスタ吉田
- 7月 理事会、評議員会
- 8月 サンライフプール・納涼船クルージング・通園者夏季在宅・吉野東クリニック夏祭り・きずな夏季野外キャンプ・山形屋作品展示、即売会
- 9月 ふれあいスポーツ大会・健康診断
- 10月 パイロットウォーク・在宅スポーツ大会・きずな大運動会
- 11月 インフルエンザ予防接種・城山ライオンズチャリティー・吉田葬祭宇掘り・わくわく福祉フェスタ・県福祉大会・赤い羽根共同募金
- 12月 クリスマスパーティ・サンエール祭り・きずなクリスマス会・第二期終業式・通園者在宅
- 1月 サンエールフェスタ
- 2月 理事会・評議員会・バレー芸術祭・評議員選任、解任委員会
- 3月 学生さんとのボウリング大会・グラウンドゴルフ大会・理事会、評議員会、法人家族会・職員健康診断・第三期終業式・おでかけイベント
- \*毎月実施 職員会議 ケース会議 職員研修 体重・体脂肪・血圧測定 リズムハート ファミリーマートバザー スポーツクラブ
- \*毎週実施 音楽 踊り（野） 水曜日レクリエーション（学生さん/月1回） リハビリ 火・木曜日カラオケ 金曜日水泳（ふれあいセンター） リズム体操

## 6. 研修報告

園内研修 施設職員研修（全国・九州・県・市） 施設長研修（全国・九州・県・市） 育成会研修（全国・九州・県）  
 作業所・日中研修（全国・九州） 女性施設長会 九州発達障害療育研究会 生き生き人生サロン その他

## 7. 交流

武岡台養護学校、鹿児島高等特別支援学校、吉野中学校、吉野東中学校、吉野東小学校 吉田南中学校、国際大学、志学館大学、純心女子大学、純心女子短期大学、パイロットクラブ、清水地区民生委員、中洲地区民生委員、名山地区民生委員、玉里地区民生委員、西本願寺上町地区婦人会等の各種ボランティア団体、大勢の方々と実りの多い交流ができました。他に、国際大クラフト大会、国際大学園祭、指宿商業高校文化祭、吉野兵六ゆめまつり、吉田町福祉まつり、おはら祭り、わくわくフェスティバル等に参加

## 8. 特定相談支援・障害児相談支援事業

平成28年2月に開所した相談支援センターあこでは、相談者（児）が有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、心身の状況及び置かれている環境等に応じて、適切な福祉サービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう、公正中立の立場から相談・計画作成事業に取り組んでいます。

# 開所しました

## 「就労継続支援B型 福祉作業所きずな塾」

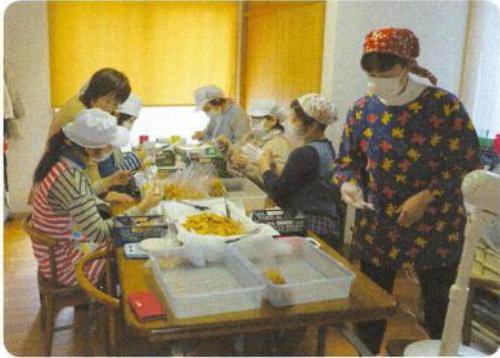
支援員 竹之内 基悦

原点復帰！  
昭和五十九年四月に開所した「きずな」の原点である、寺小屋式養護大学（福祉作業所）きずな学園。

その地に建物も一新して、就労継続支援B型福祉作業所『きずな塾』が平成二十八年十一月一日に開所しました。

利用者五名、職員四名で少ないながらも毎日、賑やかに活動しています。

日常は主に、お菓子作りをしており、地域のお祭りやバザーなどで販売させて頂いています。様々な場所で、販売させて頂いています。



います。またその中で、たくさん

んの出会いもあります。

その出会いが少しずつ、少しずつと、広がっていき励ましのお言葉や、注文を下さったり、出店の依頼を頂いたり…。

出会った皆様のお陰で、今では三十店舗

以上のお店に、きずなのお菓子を置かせて

頂いており、バザーや地域のお祭り、学祭

などには、年間四十件ほど出店の機会をもち

らっております。冒頭に「原点復帰！」と

書きましたが、このページを書いている私は、昭和五十九年の四月、きずなにはいま

せん。で・す・が！

思うんです。感じる

んです。

こんなにも長い月

日を、同じ地で「き

ずな」として、活動

## リジューベKMS

支援員 中村 由貴生



て行きたいと思えます。

六月から吉野にある、かわもと相良外科・内科クリニックの川本先生からの紹介で、数十種類もの機器を備えたスポーツジム「リジューベKMS」に各グループ月に二回通っています。

“リジューベ”とは↓若返り、“KMS”↓川本・モンスター・スタジアムという意味です。専門のインストラクター指導のもと運動機能の改善・向上、生活習慣病の予防などに努めています。少しの時間での運動ですが、皆様楽しそうに機器を使い運動されています。中には背筋が見違えるほど伸びる方も

- ・ ・ ・ 新たなきずなと地域の方との交流の場、皆様の運動機能の維持・向上ができるので、今後も楽しく通って行きたいと思えます。

出来るのは、地域の皆様が受け入れて下さったからではないかと…。

改めて「きずな塾」がこの地に開所し、こうやって活動の場が増えていけるのも、周囲の皆様のお陰というのを、感じる事が出来ました。

だから、きつと「きずな学園」が設立したときも、周囲の皆様を支えられ、愛されてたのだからなと思い、「きずな塾」もそんな地域の皆様に愛される場を目指したいとして「原点復帰」と書かせて頂きました。皆様、今後とも「きずな塾」をよろしくお願います。



「きずな塾」のお菓子好評販売中！

## 編集後記



ようやく春の兆しを感じるようになりましたが、例年になく寒い日が続きました。しかし今年「きずな」にとっても3年ぶりの成人式があり、皆さん年明けから暖かい気持ちになることが出来ました。自分にとってもうん十年前？(別に齢を隠しているわけではありません…)懐かしく、また娘もあつという間に迎えるのかなと複雑な気持ちです。(西郡)